

平成27年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成27年1月13日

上場会社名 株式会社 コスモス薬品

上場取引所 東

コード番号 3349 URL http://www.cosmospc.co.jp

代表者 (役職名)代表取締役社長問合せ先責任者(役職名)取締役経営企画部長 (氏名) 宇野 正晃 (氏名) 柴田 太

四半期報告書提出予定日 平成27年2月16日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (記者及びアナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第2四半期の連結業績(平成26年6月1日~平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

TEL 092-433-0660

	売上高	ī	営業利	益	経常利	益	四半期紅	柯益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第2四半期	201,227	11.5	8,630	8.4	9,419	6.9	5,357	5.5
26年5月期第2四半期	180,525	12.9	9,427	13.4	10,118	12.7	5,671	11.4

(注)包括利益 27年5月期第2四半期 5,364百万円 (5.4%) 26年5月期第2四半期 5,672百万円 (11.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第2四半期	270.58	
26年5月期第2四半期	286.44	

(2) 連結財政状態

(-) A= MI N PA 1/ (N)			
	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第2四半期	152,351	59,262	38.9
26年5月期	142,700	54,399	38.1

27年5月期第2四半期 59,262百万円 26年5月期 54,399百万円 (参考)自己資本

2. 配当の状況

<u> </u>						
	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	
26年5月期		25.00		30.00	55.00	
27年5月期		27.50				
27年5月期(予想)				27.50	55.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 5月期の連結業績予想(平成26年 6月 1日~平成27年 5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	削益	経常和	川益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	419,000	12.7	16,800	0.6	18,300	0.6	10,600	0.0	535.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 期末自己株式数 期中平均株式数(四半期累計)

27年5月期2Q	20,000,400 株	26年5月期	20,000,400 株
27年5月期2Q	200,761 株	26年5月期	200,761 株
27年5月期2Q	19,799,639 株	26年5月期2Q	19,799,742 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年6月1日~平成26年11月30日)におけるわが国の経済は、経済成長を目指した政府の各種施策により一部の業種に景況感の改善が見られるものの、平成26年4月に実施された消費税率引き上げの影響により、消費マインドは低調に推移いたしました。特に、地方の生活においては政府による経済政策の恩恵があまり感じられず、むしろ円安に伴う物価の上昇等で実質賃金は下落し、消費者の低価格志向はますます強くなっております。

このような状況の中、当社グループは消費者にとって「安くて、近くて、便利なドラッグストア」を目指して力を注いでまいりました。また、「良い商品を1円でも安く」というコンセプトのもと、短期的な減益も厭わず、消費税増税後も可能な限りの低価格戦略を継続いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間は、既存店売上高が前年同四半期から1.6%伸長するなど堅調に推移いたしました。しかし、売上総利益率が前年同四半期から0.8ポイント低下したことで収益性が低下いたしました。

新規出店につきましては、関西地区に4店舗、中国地区に6店舗、四国地区に3店舗、九州地区に23店舗の合計 36店舗を開設いたしました。また、スクラップ&ビルドにより1店舗を閉鎖いたしました。これにより、当第2四 半期連結累計期間末の店舗数は612店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,012億27百万円(前年同四半期比11.5%増)、営業利益は86億30百万円(同8.4%減)、経常利益は94億19百万円(同6.9%減)、四半期純利益は53億57百万円(同5.5%減)となりました。

なお、当社グループは事業区分が単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,523億51百万円となり、前連結会計年度末に比べて96億50百万円増加いたしました。この主な要因は、有形固定資産が113億38百万円、商品が17億77百万円増加し、現金及び預金が39億14百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は930億88百万円となり、前連結会計年度末に比べて47億87百万円増加いたしました。この主な要因は、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が39億78百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は592億62百万円となり、前連結会計年度末に比べて48億63百万円増加いたしました。この主な要因は、 利益剰余金の増加等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に 比べ39億14百万円減少し、173億87百万円(前年同四半期比32.7%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は68億47百万円(前年同四半期比4.6%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益93億70百万円、減価償却費32億67百万円等の増加要因、たな卸資産の増加18億1百万円、法人税等の支払額43億70百万円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は136億4百万円(前年同四半期比27.4%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出132億4百万円、敷金及び保証金の差入による支出2億87百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は28億41百万円(前年同四半期比114.2%増)となりました。これは、長期借入れによる収入50億円、長期借入金の返済による支出10億21百万円、配当金の支払額5億93百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出5億42百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期の連結業績予想につきましては、平成26年7月11日に公表した連結業績予想から変更はありません。

- 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 (税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。) 及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の見込支払日までの平均期間を基礎とする方法からデュレーションアプローチへ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1億42百万円減少し、利益剰余金が92百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21, 302	17, 387
売掛金	17	18
商品	31, 146	32, 924
貯蔵品	115	138
その他	4, 515	4, 800
流動資産合計	57, 097	55, 270
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	49, 739	56, 209
土地	9, 557	11, 345
その他 (純額)	9,850	12, 930
有形固定資產合計	69, 147	80, 485
無形固定資産	679	584
投資その他の資産		
敷金及び保証金	10, 614	10, 834
建設協力金	3, 480	3, 482
その他	1,681	1, 694
投資その他の資産合計	15, 776	16, 011
固定資産合計	85, 603	97, 081
資産合計	142, 700	152, 351

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	66, 844	66, 840
1年内返済予定の長期借入金	1, 228	2, 277
未払法人税等	4, 426	4, 073
店舗閉鎖損失引当金	86	89
その他	8, 776	9, 611
流動負債合計	81, 362	82, 893
固定負債		
長期借入金	1, 480	4, 409
退職給付に係る負債	517	402
資産除去債務	1, 422	1, 436
その他	3, 518	3, 947
固定負債合計	6, 938	10, 195
負債合計	88, 301	93, 088
純資産の部		
株主資本		
資本金	4, 178	4, 178
資本剰余金	4, 610	4, 610
利益剰余金	45, 899	50, 755
自己株式	△236	△236
株主資本合計	54, 451	59, 307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	10
退職給付に係る調整累計額	△60	△54
その他の包括利益累計額合計	△52	△44
純資産合計	54, 399	59, 262
負債純資産合計	142, 700	152, 351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

		(単位:百万円)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)
売上高	180, 525	201, 227
売上原価	144, 762	162, 971
売上総利益	35, 763	38, 256
販売費及び一般管理費	26, 336	29, 625
営業利益	9, 427	8, 630
営業外収益		
受取利息	48	46
受取手数料	233	266
不動産賃貸料	225	405
固定資産受贈益	91	94
その他	257	243
営業外収益合計	856	1, 057
営業外費用		
支払利息	24	26
不動産賃貸原価	110	200
その他	30	41
営業外費用合計	165	268
経常利益	10, 118	9, 419
特別利益		
補助金収入	_	4
特別利益合計		4
特別損失		
固定資産除却損	47	17
店舗閉鎖損失	_	2
店舗閉鎖損失引当金繰入額	46	33
特別損失合計	93	53
税金等調整前四半期純利益	10, 024	9, 370
法人税等	4, 353	4, 012
少数株主損益調整前四半期純利益	5, 671	5, 357
四半期純利益	5, 671	5, 357

四半期連結包括利益計算書 第2四半期連結累計期間

		(単位:百万円)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5, 671	5, 357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	1
退職給付に係る調整額	_	5
その他の包括利益合計	0	7
四半期包括利益	5, 672	5, 364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5, 672	5, 364

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)	(単位:百万円) 当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10, 024	9, 370
減価償却費	2, 547	3, 267
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	33	_
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	_	37
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	46	33
受取利息及び受取配当金	△48	$\triangle 46$
支払利息	24	26
補助金収入	_	$\triangle 4$
固定資産除却損	47	17
店舗閉鎖損失	_	2
売上債権の増減額(△は増加)	4	$\triangle 1$
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2, 452	△1,801
仕入債務の増減額(△は減少)	409	$\triangle 4$
その他	△128	348
小計	10, 508	11, 245
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	$\triangle 24$	△27
法人税等の支払額	$\triangle 3,935$	△4, 370
営業活動によるキャッシュ・フロー	6, 549	6, 847
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10, 520	△13, 204
建設協力金の支払による支出	△161	△175
建設協力金の回収による収入	185	164
敷金及び保証金の差入による支出	△221	△287
敷金及び保証金の回収による収入	67	55
補助金の受取額	_	4
その他	△29	△159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10, 680	△13, 604
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,000	5, 000
長期借入金の返済による支出	$\triangle 652$	△1,021
自己株式の取得による支出	$\triangle 0$	-
ファイナンス・リース債務の返済による支 出	$\triangle 426$	△542
配当金の支払額	△593	△593
財務活動によるキャッシュ・フロー	1, 326	2, 841
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2, 804	△3, 914
現金及び現金同等物の期首残高	15, 911	21, 302
現金及び現金同等物の四半期末残高	13, 107	17, 387

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は医薬品・化粧品等の小売業という単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

4. 補足情報

商品区分別売上状況

(単位:百万円、%)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)		(参考)前期 (自 平成25年6月1日 至 平成26年5月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
医薬品	30, 040	16. 7	31, 749	15. 8	60, 516	16. 3
化粧品	21, 108	11. 7	21, 903	10. 9	42, 761	11. 5
雑貨	29, 792	16. 5	33, 568	16. 7	62, 670	16. 8
一般食品	96, 455	53. 4	110, 779	55. 0	199, 517	53. 7
その他	3, 128	1. 7	3, 226	1.6	6, 359	1. 7
計	180, 525	100.0	201, 227	100.0	371, 825	100.0